

# 灰玉平（八学大）100大会新

## 女子は市川（三本木高）制す

### 県春季陸上第2日

第48回県春季陸上選手権は第2日の7日、青森市のカクヒログループアスレチックスタジアムで男女計21種目の決勝を行った。花形種目の100mは、男子の灰玉平（はいたまたいら）慎吾（八戸学院大）が大会初の10秒39、女子の市川優衣（三本木高）が12秒45でそれぞれ優勝。400mリレーでは、青森北高が男子4秒97、女子5秒32のタイムとともに頂点に立った。男子一般円盤投げは、菊池颯太（フランテューレ前）が連覇を飾った。最終日の8日は、男女計16種目の決勝を行う。（成田亮、斎藤義隆）



【男子100m】10秒39の大会初優勝を飾った灰玉平（八戸学院大）カクヒログループアスレチックスタジアム

## 「予想以上に走れた」 灰玉平

男子100mを制した灰玉平はゴール後、大会記録を0秒29上回る10秒39のタイムが大型モニターに掲示されると、何度も拳を突き上げて喜びを表現。「全日本インカレの標準記録（10秒50）を上回れたので、すごくうれしい。体の調子は良かったが、予想以上の走りができたと思う」と笑顔で振り返った。

### 自己記録 大幅更新

岩手県洋野町出身で、同県の東北インカレで出した自己の花巻東高進学後に陸上競技ベストの10秒74を大幅に上回りを始めた。手足の長さを武器に三段跳びや走り幅跳びなど、躍進の理由を「冬場からフールド競技にも取り組んで、フォームを構築し、足を後ろにだが、東京五輪代表の多田修一が、前に出すイメージで平に憧れ、大学2年の現在は、走れたのが結果につながった」と分析。目標は日本選手権優勝という。100mを主戦場に、この日は「トップの選手との競い合えるようになった」と意気込んだ。（成田亮）